

# 令和3年度事業報告

## I 概要

公益目的事業として下記のとおり4事業を実施しました。

### 1 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

### 2 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

### 3 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

### 4 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

## II 各事業の実施状況

### 1 県民への広報事業【公益目的事業1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

#### (1) 啓発イベント等による広報

##### ①臓器移植普及推進月間（10月）グリーンリボンキャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、ポスター等の配布、市町の展示コーナー、グリーンライトアップ等により臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及広報に努めました。

##### a) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス対策のため、すべて中止した。

##### b) 懸垂幕による広報

場 所 佐賀市役所、小城市役所及び佐賀県庁旧館

期 間 佐賀市役所 10月1日～10月29日

小城市役所 10月4日～10月25日

佐賀県庁旧館 10月8日～10月25日

内 容 懸垂幕「あなたの意思で救える命があります。臓器提供意思表示にご協力を」  
佐賀県・佐賀県臓器バンク・日本臓器移植ネットワーク」

c) グリーンライトアップによる広報

場 所 佐賀メディカルセンタービル

期 間 10月13日(水)～10月19日(火)

d) ポスター等による広報

内 容 移植医療への理解を呼びかけるACジャパン支援ポスター約1,800枚を配布

配布先 医療機関、市町、学校、警察署、運転免許試験場、自動車学校等

内 容 免許証の裏面での意思表示を勧めるグリーンリボンドライバーステッカー  
約1,000枚を配布

配布先 県バス・タクシー協会

e) デジタルサイネージ

佐賀県庁、佐賀市役所、鳥栖市役所、武雄市役所、多久市役所、小城市役所、  
佐賀メディカルセンタービルの県内7カ所で実施した。

f) 移植を受けた子どもたちの作品展

佐賀県臓器バンク及び佐賀県の主催で、県内2カ所で実施した。

場 所	佐賀メディカルセンタービル1階
期 間	10月12日(火)～10月19日(火)
場 所	佐賀市立図書館2階ロビーギャラリー
期 間	10月12日(火)～10月19日(火)

g) いのちのリレーポスターコンテスト

臓器移植が「いのち」という贈り物を「新しいいのち」へつなげていく「いのちのリレー」  
になることについて考えてもらう趣旨で、ポスターコンテストを実施した。

応募者54名

入賞者 5名 金賞、銀賞、銅賞、審査員特別賞、佐賀県腎臓病協議会長賞

入賞作品等は、佐賀市立図書館2階ロビーギャラリーに展示した。

[表彰式]	場 所	佐賀県庁旧館4階正庁
	期 日	10月10日(日)
[作品展示]	場 所	佐賀市立図書館2階ロビーギャラリー
	期 間	10月19日(火)～10月24日(日)

②世界腎臓デー(3月第2木曜日)におけるキャンペーン

新型コロナウイルス対策のため、中止した。

## (2) 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

### ①県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、例年、県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、県民を対象にパネルの展示、臓器移植意思表示カード、リーフレットの配布により、広報を行ってきましたが、本年度は、コロナウイルスの影響で県内のイベントの中止が続き、実施が限られました。

実施会場 佐賀市 大和中央公園花しょうぶ園（5月30日）

実施会場 嬉野市 うれしの温泉商店街まちあそび人生ゲーム会場（10月31日）

### ②成人式会場における広報

成人式への参加者に対して、臓器提供意思表示カード普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 20市町

送付数 8,400部

## (3) 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館、県運転免許センター等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口で臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 累計 約800カ所

## (4) 出前講座

看護関係の専門学校・高校での授業や中学校での命の教育等の際に、要請に応じて、臓器移植コーディネーター等による講座、学習会を行いました。

- ・伊万里看護学校 看護科（5月13日）38名
- ・武雄看護リハビリテーション学校 理学療法学科（5月25日）50名
- ・佐賀市立思斉中学校（6月9日）84名
- ・唐津看護専門学校 看護高等課程（6月26日）87名
- ・武雄看護リハビリテーション学校 看護学科（7月13日）42名
- ・佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 衛生看護専攻科（9月30日）74名
- ・医療福祉専門学校緑生館 総合看護学科（12月2日）37名
- ・佐賀市医師会立看護専門学校 看護専門課程（1月11日・1月12日）63名
- ・鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校（2月22日）9名
- ・佐賀県立致遠館中学校（3月14日）119名（計 603名）

## 《県民への広報事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動等に対する助成

## 2 移植医療体制整備等事業【公益目的事業1】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠です。当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、県内の移植医療関係者を対象にオンラインでの連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植を行う場合には、摘出された臓器の搬送を限られた時間内に的確に搬送する必要があるため、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港、緊急時での活用が想定される防災ヘリコプターの管理者等と、連絡体制や連絡方法、臓器搬送時に必要な配慮などについて予めマニュアル化し、担当者等の交代時には随時確認するなど対応力の維持に取り組みました。

### (1) 院内移植コーディネーターの配置

臓器提供の可能性が高い救急指定病院（消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院）等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

- ・ 令和3年度委嘱者数(施設数) 56名（10施設）

佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、河畔病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、やよいがおか鹿毛病院、新武雄病院、今村病院

- ・ 報酬等 なし

### (2) 院内移植医療勉強会の開催

コロナウイルスの影響等で開催を計画した医療機関がなく実施できませんでした。

### (3) 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

①佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 令和3年度第1回会議

- 日 時 令和3年10月6日(水) 16:00~18:00  
オンライン(ZOOM活用)による研修
- 参加者 県内院内移植コーディネーター、移植医療関係者
- 内 容 座長 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科学  
教授 安西 慶三 先生
- ・「臓器提供家族への看護師の役割について」  
講師 藤田医科大学保健衛生学部看護学科総合生命科学  
准教授 朝居 朋子 先生
  - ・「選択肢提示と家族対応について」  
講師 鹿児島県立大島病院 救命救急センター  
中村 健太郎 先生

② 院内移植コーディネーター研修会の開催

- 研修会 第1回院内コーディネーター研修会
- 日 時 令和3年7月20日(火) 16:30~19:00  
オンライン(ZOOM活用)による研修
- 参加者 県内院内移植コーディネーター

研修①

- 内 容 「脳死下・心停止下臓器提供の流れ」
- 講 師 佐賀県臓器移植コーディネーター 荒木コーディネーター

研修②

- 内 容 「角膜提供の流れ」
- 講 師 アイバンク協会コーディネーター 柿原 佳栄 様

研修③

- 座長 佐賀大学医学部脳神経外科 教授 阿部 竜也 先生
- ・「院内コーディネーターの役割 活動の実際」  
講師 医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院  
社会福祉士 安楽 隆一 先生
  - ・「終末期患者の権利と臓器提供」  
講師 宮崎大学医学部 社会医学講座 生命・医療倫理分野  
教授 板井 孝彦 先生

(4) 臓器搬送体制の確保

臓器搬送への協力が必要な警察、消防、空港、防災ヘリ等の関係機関の組織や担当者の異動に伴う連絡網の修正、道路規制、空港管理の変更や緊急車両の運用方法の変更等の他、交

通事情の変化等に伴う搬送マニュアルの見直し等を行うなど、着実、迅速な臓器搬送ができるよう佐賀県警察本部、佐賀県佐賀空港事務所及び危機管理防災課等による協力機関連絡会議を開催し、臓器提供者発生時の検視、臓器搬送に関する連絡方法等について確認し、新たに「佐賀県における脳死下臓器提供・移植時の臓器搬送マニュアル」を作成しました。

・臓器提供発生時の協力機関連絡会議

日 時 令和3年6月14日（月）15：00～16：00

場 所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 研修室

参加機関 佐賀県危機管理防災課、佐賀空港事務所、警察本部地域課、同捜査一課、  
佐賀県健康増進課、佐賀県臓器バンク

《移植医療体制整備等事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

### 3 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望登録の際に本人の負担を軽減するため、手続きの支援や費用の助成を行いました。

(1) 臓器移植希望者への情報提供

13件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

(2) 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査（HLA検査）に要する費用を助成しました。

助成者数:13名、助成額:325,000円

《臓器移植希望者支援事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

- ・県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

### 4 臓器提供者フォロー事業【公益目的事業1】

該当者なし。

《臓器提供者フォロー事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金